

道徳 だより

令和 5(2023)年 12月21日
国立市立国立第七小学校
校長 小畑 行広
道徳担当
第 5 号

2学期も来週の終業式を残すのみとなりました。国立七小では、2023年も様々なことに取り組んできました。今年を振り返りながらも、新たな年に向けて、しっかりと締めくくっていきたいと思います。

さて、今回も研究授業の様子をお伝えします。今回は、2年生での授業です。

研究授業⑤

◆低学年分科会 2年2組 教諭

日 時:12月15日(金)5校時 主題名:みんなが使うものを大切に(C 規則の尊重)

ねらい:みんなが使うものを大切に、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。

教材名:「きいろいベンチ」(出典:「新訂 あたらしいどうとく2」東京書籍)

今回取り扱った教材は、雨上がりの公園で、たかしとてつおは紙飛行機遊びに夢中になってしまいます。その楽しさのあまり、靴のままベンチに乗り、ベンチを汚してしまいます。その後、小さい女の子がベンチに座ると、スカートに泥で汚してしまい、おばあさんが泥を払いながら「誰がやったのか。」と話す会話を聞いてたかしたちは「はっ」とし、自分たちの行いを考え始めるという内容です。子供たちにとっては、身近な内容であり、似たような経験をしたことがある子もいるかもしれません。



授業では、はじめに教材の挿絵から問題を見付け、「みんなで使うものについて考えよう」というめあてを設定しました。授業の工夫として、教材文を読み聞かせるだけではなく、実際に桑原先生が、ベンチに見立てた椅子の上に靴のまま乗って紙飛行機を飛ばして見せました。そうすることで、子供たちも教材の内容がよりイメージしやすくなるとともに、「何が問題なのか」ということを考えやすくなりました。また、子供たち同士で考えを伝え合うペアワークも行いました。これによって、全体の場ではなかなか発言できない子も、友達に伝えることができます。更に、「みんなで使うものだから、自分たちも自由に使ってもよいのでは？」と子供たちの心や考えを揺さぶり、ザワつかせる発問をすることで、子供たちは考えを深めていきました。授業の最後には、子供たちがみんなで使うものを大切にしている写真をスライドショーで見ました。子供たちは、「あ、〇〇さんだ！」と嬉しそうに自分たちのことを振り返っていました。

最後に、講師の石丸憲一先生からいただいたご指導の一部を紹介します。

○挿絵一枚で必要なことを、子供たちからほとんど引き出すことができた理想的な導入だった。

○多くの児童が、自分が思ったことを素直に表現することができていた。

○自己の振り返りをする際、事前にとったアンケートの結果や子供たちの様子が分かるスライドショーは、とても効果的であった。

○中心となる発問で、ねらいとしていた「規則の尊重」ではなく、自分の行いを認めるかやおばあさんに謝るかといった意見(正直、誠実)に流れていた。問い返し等を効果的に行いながら、ねらいに迫っていく授業にしていきたい。

2年2組の子供たちは、多くの先生方の参観に緊張しながらも、先生の話をよく聞き、自分の考えを生き生きと表現していました。また、参観していた先生方が、子供たちの様子を暖かい眼差しで見っていました。そして、何よりも桑原先生が楽しそうに授業をしていたことが印象的でした。

次回は5年生で、今年度最後の研究授業です。来年もまた道徳についてお伝えしていきます！